

2020年度の事業計画書

特定非営利活動法人チャイルド・ケモ・ハウス

1 事業実施の方針

2020年度は、2019年度に引き続き小児がんおよび医療的ケアが必要な子ども達に対して小児慢性特定疾病児の自立支援事業等を中心に、支援を行う。チャイルド・ケモ・ハウス滞在中の患児や家族の支援とともに神戸市、西宮市、尼崎市の小児慢性特定疾病児とその家族がアクセスしやすい環境整備につとめる。

また、感染症対策を強化するためのオンラインによる支援の導入を他団体とも連携し、ボランティアや外部講師の協力を得て実施していく。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	実施内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
(1) 小児がんや小児慢性特定疾病などの難治性小児疾患分野におけるQOLの向上に関する研究事業	小児慢性特定疾病児とその家族にたいするオンライン支援の研究と実施	2020年7月～ 2021年3月の感染症対策を強化する時期を中心に	チャイルド・ケモ・ハウス等から配信	30	在宅療養中の小児慢性特定疾病児とその家族 チャイルド・ケモ・ハウス滞在者等 述べ約80名	784
	小児慢性特定疾病児とその家族にたいする居場所づくりの研究および環境整備(助成：公益財団法人神戸やまぶき財団申請中、みてね基金申請予定)	2020年10月～ 2021年3月	チャイルド・ケモ・ハウス他、相談者のアクセスの良い会場(拠点)の可能性あり	5	在宅療養中の小児慢性特定疾病児とその家族 チャイルド・ケモ・ハウス滞在者等 述べ約30名	
(2) 小児がんや小児慢性特定疾病などの難治性小児疾患に対する正しい知識の普及を目的としたイベントの企画、運営と普及啓発事業	チャースイ部(助成：住友生命健康財団スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム)	2020年8月15日	関西学院中等部	15	小児がん・がんサバイバー10名、きょうだい2名、水泳部30名等	760
	かえっこバザール&チャイルド・ケモ・ハウスの実施(助成：近畿ろうきんNPOアワード)	2020年10月頃	神戸市内	10	小児慢性特定疾病児とその家 約30名	
	インターネット上での活動(ホームページ、フェイスブック、動画配信、ツイッター、ブログ)自立支援事業用ページの新規作成	通年	インターネット上	3	一般人フォロワー数facebook 9000名ツイッター1300名インスタグラム1200名	

事業名	実施内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
(2) 小児がんや小児慢性特定疾病などの難治性小児疾患に対する正しい知識の普及を目的としたイベントの企画、運営と普及啓発事業	発行物の作成 チャイルド・ケモ・ハウスの活動を伝える『チャイケモつうしん』の発行	通年 年2回発行 (5月、11月)	チャイルド・ケモ・ハウス	5	会員、寄付者、支援者、患児、患児家族、関連団体等 約600名	
	講演活動 (学校でのがん教育、奉仕団体や企業、イベント等での活動紹介)	通年	関西中心	5	学校の生徒、教員、奉仕団体関係者等 約1000名	
	チャイケモウォーク2020 (おうちでチャイケモTシャツを着て、小児がんの子どもと家族を応援する企画へ変更)実施協力	2020年 5月24日	インターネット上にて	5	会員、寄付者、支援者、患児、患児家族等 約200名	
(3) 小児がんや小児慢性特定疾病などの難治性小児疾患に関わる全ての人への支援事業 小児がんや小児慢性特定疾病などの難治性小児疾患患児、家族の闘病生活支援、小児がんや小児慢性特定疾病などの難治性小児疾患闘病生活のQOL向上を目指す団体への支援	チャイルド・ケモ・ハウスにて小児慢性特定疾病児の子どもと家族のためのイベントの開催 (感染症対策によっては中止もしくはオンラインでのイベントに変更の可能性あり) (助成：一般社団法人MDRT日本会)	2020年 7月、9月、11月、 2021年 1月、3月の隔月実施	チャイルド・ケモ・ハウス	20	小児慢性特定疾病児 述べ約50名、 きょうだい約30名、 保護者約80名	4755

事業名	実施内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
(3) 小児がんや小児慢性特定疾病などの難治性小児疾患に関わる全ての人への支援事業 小児がんや小児慢性特定疾病などの難治性小児疾患患者、家族の闘病生活支援、小児がんや小児慢性特定疾病などの難治性小児疾患患者のQOL向上を目指す団体への支援	インターネットでの学習支援 E-lecture	2020年4月～ 2021年3月での計10回	チャイルド・ケモ・ハウス 他	5	患児、家族、教育関係者 約80名	
	重い病気の子供たちの心に寄り添うオリジナル絵本「ピッケのつくる絵本」づくり事業を実施 (助成：公益財団法人ノエビアグリーン財団) (感染症対策によってはオンラインの可能性あり)	2020年6月以降 計10回程度	チャイルド・ケモ・ハウス、 大阪大学医学部附属病院分教室、 京都大学医学部附属病院 他	6	病院の入院患児 述べ約80名、 保護者述べ約60名	
	カフェふらり	2020年8月頃より 2021年3月のうち 3-5回程度	チャイルド・ケモ・ハウス	3	患児5名、 きょうだい5名、 保護者30名	
	ハウス滞在者への心理的社会的支援	通年	チャイルド・ケモ・ハウス	5	患児、保護者、 きょうだい 約44名	
	AYAピアサポートプログラム実施協力 主催：AYA's Journey Japan	AYA世代ピアサポートプログラム (2020年10月、 2021年3月)	チャイルド・ケモ・ハウス、 他	5	AYAピアサポートプログラム実施 小児がん・がん経験者20名、 医療者・支援者等 20名	
	チャリティーグッズによってチャイルド・ケモ・ハウスのコンセプトを広める活動	通年	チャイルド・ケモ・ハウス、 全国	30	一般人 約250名	
	夢の自動販売機の設置の普及	通年	全国	5	支援者、一般人、企業 70台設置	

事業名	実施内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
(3) 小児がんや小児慢性特定疾病などの難治性小児疾患に関わる全ての人への支援事業 小児がんや小児慢性特定疾病などの難治性小児疾患患者、家族の闘病生活支援、小児がんや小児慢性特定疾病などの難治性小児疾患患者闘病生活のQOL向上を目指す団体への支援	募金箱設置の普及、募金の回収	通年	全国	10	支援者、一般人 92個設置	
(4) 小児がんや小児慢性特定疾病などの難治性小児疾患分野における医療者及び支援者の人材育成事業	重い病気をもつ子どもと家族のための「あのねサポーター」育成事業 (助成：阪急阪神 未来のゆめ・まち基金)	事例検討会実施 2020年 6月、 8月、 10月、 12月	チャイルド・ケモ・ハウス	5	小児がん経験者、患児家族、教育、医療、福祉関係者、ボランティア団体、大学、企業関係者等 約130名	910
	ボランティアの会 (ハウス内イベント企画会、お掃除ボランティア研修会等)	2020年 4月、 6月、 8月、 10月、 12月、 2021年 2月	チャイルド・ケモ・ハウス	2	学生、教員、支援者、一般など 約100名	
(5) 小児慢性特定疾病児童等の自立支援事業	神戸市、西宮市、尼崎市の委託による小児慢性特定疾病児等の自立支援事業の実施 (電話、面談、訪問等の相談支援を中心に、学習、病院つきそい等の支援、ワークショップも必要に応じて実施)	相談事業：通年	チャイルド・ケモ・ハウス、相談者の自宅、他	5	小児がんの患児をはじめ小児慢性特定疾病児とその家族相談人数延べ269名	16956

事業名	実施内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
(5)小児慢性特定疾病児童等の自立支援事業	神戸市、西宮市、尼崎市の委託による小児慢性特定疾病児等の自立支援事業の実施 (電話、面談、訪問等の相談支援を中心に、学習、病院つきそい等の支援、ワークショップも必要に応じて実施)	相談事業：通年	チャイルド・ケモ・ハウス、相談者の自宅、他	5	小児がんの患児をはじめ小児慢性特定疾病児とその家族相談人数延べ269名	16956
	あのねカフェ中高生Day、あのねカフェファミリーDay、尼崎市 交流会・相談会	2020年 8月6日、 9月13日、 11月	チャイルド・ケモ・ハウス、尼崎市保健所	10	神戸市、西宮市、尼崎市在住の小児慢性特定疾病児童とその家族 約70名	
	自立支援事業班会議への研究協力	自立分担任会議 2020年 12月22日、 成果報告会 2021年 2月8日、 9日	東京	2	小児慢性特定疾病児童等自立支援員による相談支援に関する研究班員、その他関係者約120名	
	自立支援事業学習・あそび支援のボランティア研修およびコーディネートの実施(感染症対策によりオンライン支援の可能性あり)	通年	チャイルド・ケモ・ハウス、自立支援事業支援先自宅	4	ボランティア 約20名	
(6) 医療保険各法に基づく訪問看護事業	2020年度は特に実施なし	なし	なし	0	0	0
(7) 介護保険法に基づく訪問看護事業	2020年度は特に実施なし	なし	なし	0	0	0
(8) その他目的を達成するために必要な事業	2020年度は特に実施なし	なし	なし	0	0	0